

## 日本複合・防音床材工業会 令和6年度通常総会を開催

▼新会長に伊藤真浩氏(朝日ウッドテック(株)執行役員)が就任

日本複合・防音床材工業会は6月14日、通常総会を大手町東京会館で開催し、正会員13社27名、賛助会員26社36名、来賓9名、総勢72名が出席した。冒頭、松川会長は「持ち家の着工が29ヵ月連続の前年割れとなり、地方では平屋が増加して床面積が減っている。住宅着工予想にしても『そんなに建つのか』と体感的には疑問だ。また働き方改革による罰則付の制度が導入されたことも大きな話題だ。職人不足、ドライバー不足に円安を含めた大きな課題を克服していかなければならないが、メーカー単体での対応だけでは既に厳しいところまできており、業界全体で進めていく必要があるのではないかと考えている。JAFMAの存在価値は厳しい時代にあってこそ発揮されるものでなければならない」とあいさつした。



=松川会長=

工業会では、昨年4月からスタートした床暖房試験規格に合格した商品の登録制度を普及させていくとともに、現時点では試験規格の対象外となっている床暖房適合防音フローリングの規格検討を進めていくこととした。また、外国人労働者の受け入れについては、関連団体との協議会に参加し、特定技能外国人の受け入れが可能となるような書類整備を進めるなど、様々な活動を推進していくこととしている。



=伊藤 新会長=

今回の総会をもって松川保会長(大建工業(株)シニアアドバイザー)が任期満了となったことに伴い、新会長に伊藤真浩氏(朝日ウッドテック(株)執行役員)が就任した。伊藤新会長は、就任のあいさつで「これまで技術職としてフローリングの生産と開発に携わってきた。技術者としてやってきた経験を活かし、複合フローリングの価値向上と業界の発展に尽力していきたい」と抱負を述べた。

参考記事：日刊木材新聞社

